

令和3年度 丸山晚霞記念館運営委員会（書面開催）結果

令和4年2月2日（水）に開催を予定していた丸山晚霞記念館運営委員会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、書面開催となりました。

なお書面による審議の結果を受け、2月2日（水）に会長から市長へ答申が行われました。

1 開催方法

委員に会議資料を送付し、報告事項・審議事項に対する回答を受領する。審議事項に対して「承認」が過半数の場合は市長からの諮問に対して「答申書（案）」のとおり答申するものとし、「承認」が過半数を得られなかった場合は「答申書（案2）」のとおり答申するものとした。また報告事項・審議事項への意見・質問等も答申書に添付するものとした。

2 回答状況

委員10名全員回答、審議事項2件に対して過半数の「承認」

(1) 報告：令和2年度運営実績について

- ・コロナ禍で全国的に休館や各種活動の制限が断続的に長期化している中、常設展を中心に風景画・水彩画他の魅力発信に尽力している。また、企画展や様々なワークショップを通じて、次世代を担ってゆく子供たちを含めた幅広い層に、美術の楽しさ・豊かさを知って頂ける機会を積極的に設けていったのは、美術館の社会的役割を果たしているといえよう。
- ・コロナ禍においては止むを得ぬ実績だが、機を見て頑張っていると考える。
- ・長期休館を余儀なくされるなど、制約の多い年度にあって企画展「どうぶつ尽」をはじめ健討されたとします。
- ・ご苦労さまでした。

(2) 報告：令和3年度運営状況について

- ・教育普及事業として外部講師をして学校に来校して指導して下さったり、記念館で指導して下さったりして大変ありがたいです。今後ともよろしくお願い致します。
- ・「水彩の三明星」は、水彩画史のみならず近代美術史にとっても重要なテーマであり、吉田博も含めた企画構成は魅力あるものとなっていた。全国から秀作を借用しての満を持しての開催であったが、奇しくも当該期はタイミング良くコロナ感染縮小期であり、逆境の時代にしては多くの観覧者に鑑賞いただくことが出来た。コロナ過下においても文化芸術活動の灯を絶やさない、積極的な文化的投資という点でも意義ある企画であった。
- ・今年度もコロナ過の中、ワークショップや様々な企画運営においては紙面を見させていただく中でご苦労の多さを感じました。学校関係も大変お世話になっております。
- ・晚霞の真骨頂である「山」「花」に焦点を当てて妥当であるがコロナより来客が伸びず残念である。一昨年来「山と溪谷」でも山を描いた画家のコーナーが続いており、見直されるべき時代に至っていると思われる。

- ・企画展の例年の推移実績があると良いと思います。
- ・前年度同様厳しい環境下にも関わらず、良質な企画を次々と打ち出しました。教育普及事業の充実も特筆に値します。
- ・新型コロナの影響とはいえ、来館者の減少が心配されます。コロナ禍でも美術館離れが起きないよう更なる工夫が求められます。教育普及事業に、和小（田中小）の学校名がないのが気になりました。諸事情があると思いますが、活用して欲しいと思います。
- ・ご苦労さまでした。

(3) 審議：令和3年度取得作品（案）について

「承認する」10、「承認しない」0

- ・作品No.1は、幸い企画展にて実物を検証できた（資料写真は暗く細部不明で書面審査には全く不適）。左前景に急傾斜地を配し、中景ののどかな田園風景を経て、白く細く左右に伸びる崖の彼方に遠景の山並みが続く。千曲川河畔の浸食崖の存在により、左岸台地の北縁付近から島川原・布下周辺を経て烏帽子岳山麓方面の俯瞰かと推測される。作風は軽妙で手馴れており、細密描写は抑え目ながらも対象を明暗の対比を踏まえて的確に描く。晚霞円熟期の作品と考えて問題なかろう。美術館公開に足るサイズがあり、寄贈を受け入れることは適当と考えられる。作品No.2に関しては、資料写真と佐藤館長からの情報による。サインはローマ字と書き印のようだが、後者は稀で時期が限られる。1900年代初頭ということになるが、水彩画指導者として活動を始めた頃の過不足のない爽やかな佳品と評価出来よう。遠景に残雪を抱いた連山が見えるが、後年の概念的アルプスではなく、実景と考えてよかろう。主題である家屋周辺の巨石の存在から、安曇野北部の東山（池田町～大町市）中腹であろうか。サイズも小さめでかなり日焼け・退色しているようだが、資料的価値も踏まえ、寄贈受け入れも問題ないと思われる。
- ・No.2路傍の家は晚霞らしいが、No.1風景はややらしくない感じ。（写真が暗い？）
- ・2点とも晚霞記念館の所蔵品としてふさわしい作品と考えます。よって寄贈の受け入れは問題ありません。

(4) 審議：令和4年度事業計画（案）について

「承認する」10、「承認しない」0

- ・吉田博の見る遠志の弟子である三村治男氏（木版画家）と親交があるので、今年～来年に展示を模索してほしい。4年の「山が好き！・・・」でも場合によれば一部参考出展も考えられる。
- ・「山」をテーマとした企画展、大いに期待しています。常設展示のアピールも宜しくお願いします。
- ・コロナ禍で運営等大変かと思いますが、地域文化振興のため頑張ってください。